



“わたしたちの社協の一押し事業 2017”



高齢者いきいきサロン事業(地区社会福祉協議会事業)

／袖ヶ浦市社会福祉協議会

事業名：高齢者いきいきサロン事業（地区社会福祉協議会事業）
○具体的な内容・中身 ・市内6地区の地区社協が地区内に高齢者向けサロンを開設し、高齢者の孤立防止、地区内の交流の場づくりを行っている。 ・内容としては、茶話会、脳トレ等のレク、袖ヶ浦市が推進している「百歳体操（歌を歌いながら体操する）」、桜の下で交流等、季節、地域に応じた活動を行っている。
○その事業を始めたきっかけ ・近隣関係の希薄化、無縁社会、自治会の未加入世帯の増加等、地域が以前のような支え合い、助け合いの仕組みづくりが弱まってきている中で、福祉対象者（又予備軍）が地域の中で、誰からも関心をもたれずに生活しているのではなく、地域住民同士の関わり合いを持ちながら地域社会の一員として社会生活を送ってほしかったため。 ・また、当会の地域福祉活動計画及び袖ヶ浦市の地域福祉計画を協働して策定するなかで、地区意見交換会、アンケート・ヒアリング調査等からニーズとして地域の誰もが気軽に交流できるような活動の場が求められていることが分かったため。
○事業の特長、特に強調したい点 ・地域福祉活動計画策定時（平成26年度末）には、本市には6地区の地区社協があり、地区社協事業として様々な事業を実施していたが、高齢者いきいきサロン活動を実施している地区社協が全くない状況でした。 ・1年半後（平成28年9月末）の現在は、全6地区で1か所から3か所のサロンを開設し、平成28年度上期実績延べ1,019人の参加者があった。地区社協事業推進委員の理解、協力の賜物である。
○事業の財源と事業費の内訳、業務量（事務量、負担感・協力者の人数等） （事業費）自己負担：100円程度　地区社協補助金：200円程度／人 （事務量）民生委員の周知、自治会回覧、会場調整、参加者調整 協力者：地区社協事業推進委員約8人／1回
○事業の効果、住民・関係者からの評価 ・本会はシニアクラブ事務局も行っているが、単位シニアクラブが役員の負担感等により解散が続いている状況の中で、高齢者いきいきサロン事業はその受け皿になりうる。 ・また、地区敬老会等の大きな行事に移動の問題で参加できない方も、より身近な所で数多く実施されるサロンに参加することにより地域の交流機会の増加につながっている。 ・最近は児童や障がいのある方の参加、交流もあり、世代間等の隔てなく、地域の誰もが参加できる形に近づきつつある。 ・今後はこの事業をもとに、より地域内での見守り、支え合い活動につなげていきたい。
○今後、同じような活動を始めるに当たってのヒント・アドバイス ・規約等の決めごと、ルールなどをはじめに用意するのではなく、行っていきながら改善、調整する方が地区の事情、都合に合ったものになりやすく、事業を推進しやすいと思われる。
この事業に関する問合せ先：袖ヶ浦市社会福祉協議会（担当：地域福祉係）

☎0438-63-3888

（平成29年3月29日作成）



中富成蔵サロン